

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【公開番号】特開2004-196902(P2004-196902A)
 【公開日】平成16年7月15日(2004.7.15)
 【年通号数】公開・登録公報2004-027
 【出願番号】特願2002-365163(P2002-365163)
 【国際特許分類第7版】

C 0 8 J 5/18
 B 6 5 D 81/24
 B 6 5 D 85/671
 // C 0 8 L 1:10

【F I】

C 0 8 J 5/18 C E P
 B 6 5 D 81/24 F
 B 6 5 D 85/671
 C 0 8 L 1:10

【手続補正書】
 【提出日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0081
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0081】

つぎに、これらのセルローストリアセテートフィルムについて、調温調湿処理前の未処理フィルムのフィルム面の異物発生数を、上記実施例1の場合と同様にして、フィルム面の異物発生数を測定した。一方、これらのセルローストリアセテートフィルムを温度70湿度80%RHの環境条件下で3日間、調温調湿処理した後のフィルム面の異物発生数を、上記実施例1の場合と同様にして測定し、得られた結果を、上記表2にあわせて示した。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0082
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0082】

表2の結果から明らかなように、本発明の実施例1~3によれば、セルローストリアセテートフィルムの未処理品について、フィルム面の異物発生がほとんどなく、また同フィルムの調温調湿処理品についても、フィルム面の異物発生数が大幅に低減していることが判る。